まちのわだい
masaki's town news

▼6月4日
重信川クリーン大作戦

松山河川国道事務所主催の「重信川クリーン大作戦」は、重信川河口ほか2カ所で行われ、約370人が参加しました。
清掃では、約450袋のごみが収集されました。下流では重信川エコリーダー（愛媛大学生）と伊予農業高等学校の生徒による学習会も行われ、参加者らは、水の用途が幅広く利用されていることなどを学びました。

▼6月25日
国道56号沿いの花壇に植栽

松前校区老人クラブ（重川源会長）は、国道56号沿いの花壇に花を植えました。
同クラブは、毎年7回程度花壇の手入れを行っていて今年で15年目。会員約80人が集まって、8ポーチュラカ800株とコリウス600株を丁寧に植えていきました。会員らは花がきれいに咲き並ぶ花壇を見ながら、「道行く人が和むような花をこれからも育てたい」と話していました。

▼7月1日
伊予高生が地元料理に挑戦

松前町食育アドバイザーと伊予高校の家庭クラブの生徒たちは、松前町旧保健センターで、「ちりめんを使ったちらし寿司」を作りました。これは、家庭クラブの生徒たちの「地域の食材を使った料理を教えてもらいたい」「地域の人たちと交流したい」という想いから実現したもの。生徒たちは、地元の食材と伝統的な調理方法を楽しく学んでいました。

▼6月18日
笑顔を東北へ 西高柳でチャリティーライブ

西高柳の「ふれあい芸能大会」は、西高柳集会所で開かれ、子どもからお年寄りまで多くの人が参加しました。25回目の今年は、東日本大震災に被災された人へのチャリティーライブとして開催。プロのヴァイオリニストによる演奏や、はなし家による落語などで楽しい時間を過ごすだけでなく、笑顔と元気、そして支援を東北の地へと届ける大会となりました。

▼7月9日
小富士保育所と和楽園の合同夏祭り

小富士保育所と和楽園の園庭で、恒例となった「合同夏祭り」が開催され、大勢の家族連れらが夜店などで夏の夕暮れを楽しみました。
祭りはかわいい園児たちの踊りでスタート。会場には、金魚すくい、ヨーヨーつり、焼き鳥、たこ焼き、かき氷など、たくさんの夜店が出店されました。最後は、打ち上げ花火が行われ、夜空に大きく咲いた花火に大歓声が上がっていました。

▼7月8日
庁舎前花壇がきれいになりました

伊予農業高等学校の園芸流通科の2年生10人がボランティアで、役場の正面玄関の花壇に花植えを行いました。
色とりどりのポーチュラカ約300株が生徒たちによって手際よく、丁ねいに植えられ、花壇を鮮やかに飾りました。夏空のもと、かわいらしく咲く花々が、役場に来た人の目を楽しませてくれています。

▼7月12日
町内各地でプール開き

7月、町内の保育所では続々とプール開きが行われました。そのうち、白鶴保育所では7月12日にプール開きを実施。毎日暑い日が続いていたので、園児たちはウキウキしてこの日を待っていたようです。みんなで準備運動をしてから順番にプールへ。プールの中では、バタ足をしたり先生やお友達と一緒におもちゃで遊んだり、みんな自然と笑顔がこぼれていました。

▼7月9日
夏祭り恒例の盆踊りを練習

各地域での夏祭りに先立って行われる「盆踊り講習会」は、松前公園で開催されました。
講習会では、「まさき音頭」のほか、盆踊りの新曲「ベイサイドブギ」「恋のドンパン節」「まりと殿さま」「新伊予節」を練習しました。参加した地域の代表やグループ、愛好者の皆さんは、伊予民踊研究会の先生を中心に輪を作り、楽しく踊りを覚えながら、爽やかな汗をかいていました。